

《風 疹》

★ 風疹とは？

原因は「風疹ウイルス」によるもので、俗に「三日ばしか」ともいわれています。飛沫感染で、患者の咳、くしゃみ、会話から、病原体を含む唾液、喀痰が飛び散り、これを吸い込むことによって起こる感染です。潜伏期は約2週間です。

★ 症状

一般に軽く、微熱と（時には39度近くの高熱のこともあります）発疹が主な症状です。発疹は顔面から始め、全身に広がるこまかく赤いブツブツで、溶連菌感染症、りんご病、その他のウイルス性発疹症と区別のつかない場合もありますが、大体3～4日で消失します。発熱も発疹とともに2～3日持続しますが、その後解熱してきます。また、耳の後ろ、後頭部、後頸部のリンパ節が腫れます。

年長児や成人では、高熱、眼痛、咽頭痛、頭痛などをともなうことが多く、症状がひどくなります。また、妊娠早期の妊婦（特に妊娠3～4カ月）がかかると、産児に奇形などの異常を認めることがありますので、注意が必要です。



★ 診断

症状が軽く、はっきりと診断がつかない場合があります。その時には、必要があれば、血液検査（ウイルス抗体価など）をおこなって診断します。

★ 治療

特別な治療を必要としません。

ただ、症状の緩和と合併症予防の目的で、薬を処方することがあります。

★ 看護

- ※ 人へうつる感染力は発疹の出る前後2～3日が最も強いので、少なくとも発疹が消えるまでは、外出、登校禁止です。入浴も医師の許可があるまで避けて下さい。
- ※ 特に安静臥床する必要はありませんが、家で静かに過ごして下さい。
- ※ 身の回り的人や近所に妊婦がいる場合（特に妊娠初期）、近づけないよう注意して下さい。

